

2022 年 10 月 23 日 Staph.授業での資料

Materia Medica.UK.net

<https://materiamedica.uk.net>

ポリケ、ファタック、クラーク、アレンを参照したヘリオス社のミニ MM

スタフィサグリア

切開手術（侵襲的手術）後の精神的・感情的な影響に。優しく穏やかそうに見えるが、怒り・憤慨・屈辱を感じている。境界線が侵されたような感じ。他人が自分に対して言ったことに対して敏感。侮辱や無礼さから症状が出る。触れられたくない。再発するものもらい。性行為後の膀胱炎、排尿していない時に焼けるような灼熱感があり、強い頻尿感を感じる。排尿後に痛みがある。好転：暖かさ、休息、朝食。悪化：食事を抜く、タバコ、激しい活動
※invasive surgery：侵襲的手術、表面的な切開だけでなく身体に入っていくような手術

その他のヘリオス社の冊子内の文章

- ・会陰切開（episiotomy）の No.1 レメディ
- ・疝痛（colic）：屈辱を受けた後に発症した場合
- ・膀胱炎（cystitis）：性行為後の膀胱炎
- ・口内の症状：ズキズキ・ヒリヒリする（sore）口の切り傷
- ・目の怪我：怒りを伴っている場合
- ・出産後のケア（post-natal care）：会陰切開後に
- ・外科手術（surgical operation）：カテーテル（catheters）や浣腸（enemas）後に
- ・傷（wounds）：外科手術に

その他の Staph.の英語

- ・suppress：抑圧する、我慢する、押し殺す、感情などを表現しない
- ・offended：傷ついた、気分を害した、ムッとした
- ・offensive：攻撃的な、侮辱する、人を不快な気持ちにさせる、分泌など悪臭がする
- ・humiliated：屈辱を受ける、メンツを失う、辱めを受ける、顔に泥を塗られる
- ・remorse：自責の念、深い後悔
- ・burning：灼熱感、焼けるような感じ
- ・stinging（stitching、pricking）：刺すような痛み、チクチクする痛み
- ・style、sties：ものもらい
- ・wart：イボ
- ・sinking、hanging down、relax、flabby：胃が下がる